

## 手話通訳派遣上のお願い ③集会・講演会（話し手は1人）

一般的な場合を想定しての「お願い」です。ご依頼の個々のケースで、あてはめられない条件もあるかと存じます。お願いの趣旨をおくみ取りいただき、ご対応いただけるとありがたいです。

ご不明の点がありましたら、手話通訳派遣担当にお尋ねください。

1. 司会者は、最初に「手話通訳を見て、集会・講演会に参加する人がいる」ことを話し手・参加者に周知してください。（特に講師へは、必ずお願いします。）

- 一度に通訳できるのは一人の話しだけです。発言中に重ねて、別の人が発言すると通訳できません。司会者による発言整理をお願いします。また講師・話し手にも理解いただきますようお願いいたします。
- 聞こえる人でもついていけないスピードでの発言や、資料の読み上げは、通訳が追いつけなかったり、聴覚障害者がその手話を読み取れなかったりします。発言の趣旨を参加者に理解してもらうためにも、話す人にはわかりやすい話し方（スピード・音量・滑舌）を求めてください。
- 会場の騒音やざわめきなど、他の参加者が聞き取りにくい状況では通訳者も通訳できません。また、聞きながら手話通訳をしますので、聞いているだけの時よりも聞き取りにくい状態になります。発言などが「ことば」として聞き取れる環境整備をお願いします。
- 会場が広く、壇上・舞台上でマイクを通した話を手話通訳する場合、客席へは適切な音響であっても、舞台上の通訳者には「音が割れる」「聞こえない」ことがあります。（マイクの使い方によっても、声がかもって聞き取れないことがあります）あらかじめ、ご担当の方による、舞台上の通訳位置での「ことばとしての聞こえ」の状況点検をお願いします。通訳者用のスピーカーを用意してくださる会場もあります。
- 手話通訳は対面で行います。隣り合わせでの通訳は、対象者・通訳者の双方が体をひねり、肩を痛めてしまいます。聴覚障害者の席・通訳者の席は現場で、集会・講演会運営に支障のない範囲で設定し、微調整は当日の通訳者（参加聴覚障害者がいれば、聴覚障害者にも）に確認していただくとありがたいです。通常は、話す人と通訳者を同時に視野に収められる席が手話の読み取りには最適です。舞台の高さにも関係しますが、参加者席最前列中央よりの右端か左端に聴覚障害者席を設定していただくと最適です。

### 【通訳位置の例】

- A 聴覚障害者が不特定・または多数  
→ 舞台上の話し手近くに通訳者が立って通訳する
- B 聴覚障害者が特定・または舞台と客席の距離がかなりある  
→ 聴覚障害者席の前で、対面に通訳者の人数分の椅子を置き、通訳者は座ったままで通訳する。

### 【聴覚障害者席の例】

## 手話通訳派遣上のお願い ③集会・講演会（話し手は1人）

集会受付で「手話通訳ご希望の方はこちらに」といった表示をします。

受付で、会場図に聴覚障害者席の印を付けた紙を渡してください。

聴覚障害者に示した会場内の席には、例えば「主催者」などと書いた紙を座席において、席の確保をお願いします。

（↑一例です。「特別席」「障害者席」では聴覚障害者が避けて座ることがあります）

2. 通訳者は複数派遣しますが、これは交代要員です。約15～20分ごとに通訳と休憩を交互にとります。腕や手の疲れを回復することと、頭の中で異なる言語の翻訳をすることによる疲れを回復するためです。  
従いまして、休憩中の通訳者に、通訳以外の所用を依頼することが無いようご配慮ください。
3. 研修・講座中に、照明を落としてスクリーンを見るようなことがありましたら、手話通訳の動きを読み取れる明るさをご一考ください。「薄暗いだけだから手は見える」と思われましても、口の形・表情や動く手話を見ることは別で、読み取り困難な場合があります。
4. 通訳者には、参加者と同じレジュメ・資料の用意をお願いします。また、口形（話し言葉と同じように口を動かす）でも情報を伝えながら通訳しますので、口の開閉により口の中が乾燥してしまい、通訳に支障をきたすことがあるので、飲み水のご配慮をいただきますと幸いです。
5. 集会・講演会資料、当日の進行予定(司会シナリオ)などがありましたら、あらかじめ、当館にご送付ください。実施日までに余裕があれば郵送で派遣通訳者の人数分と控え（1部）をお送りください。  
実施2～3日前でしたら、当館に電話でご確認いただいた上で、FAX またはファイル添付で送信してください。  
場合によっては、当日現場渡しをやむなしとする場合と、最低限必要な資料のみFAX 送信をお願いする場合があります。
6. コンサートなどのご依頼では通訳をお引き受けできるのは、日本語の歌のみです。（外国語の歌、楽器演奏は通訳できません）  
歌の通訳をご希望の場合は、お早めに歌詞をそろえてご提出ください。（その歌を知らない場合、舞台上では歌詞を聞き取れないことがあります）  
また、当日、参加聴覚障害者に同じ歌詞カードを配布していただくとより楽しんでいただけます。
7. 手話通訳者を写真・ビデオなどに撮ることは、ご遠慮ください。必要性・事情があって撮る場合は、事前にご連絡をお願いします。  
撮り方によっては、請求金額が変わります。